

【様式1-1】

遠別町 橋梁長寿命化修繕計画

平成 25 年 2 月

(平成30年12月 様式 1-1,1-2 改訂)

遠 別 町 経 済 課

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

1) 対象橋梁

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
策定計画対象橋梁	16	12	49	77

2) 現在の長寿命化修繕計画の期間

2012年～2021年の10年間

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

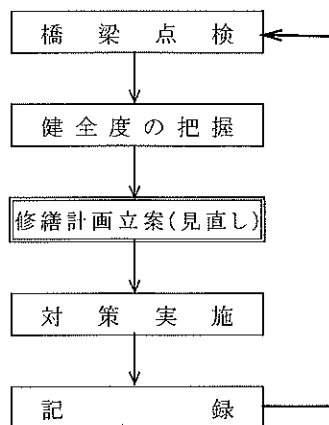
遠別町の立地条件や橋梁の架設年度を十分考慮して点検を実施するものとし、その内容は「道路橋に関する基礎データ収集要領（案）」（国交省・国総研）に基づいて行い、橋梁の損傷を早期に把握するとともに、劣化進行程度を管理する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好状態に保つため、定期点検、異常時点検の他、日常的な維持管理として、橋梁を含めた道路パトロールや清掃などに努める。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

- ・各橋梁点検結果及び架橋環境条件等から、損傷に対し事前に劣化予測を行い、これらの予防的修繕の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化及び高コストを回避し、ライフサイクルコストの縮減を図る。
- ・詳細点検に基づく橋梁の健全度把握および損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画を見直す。
- ・個別施設状況については、別表判定区分一覧による



図一 橋梁長寿命化修繕計画の流れ

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

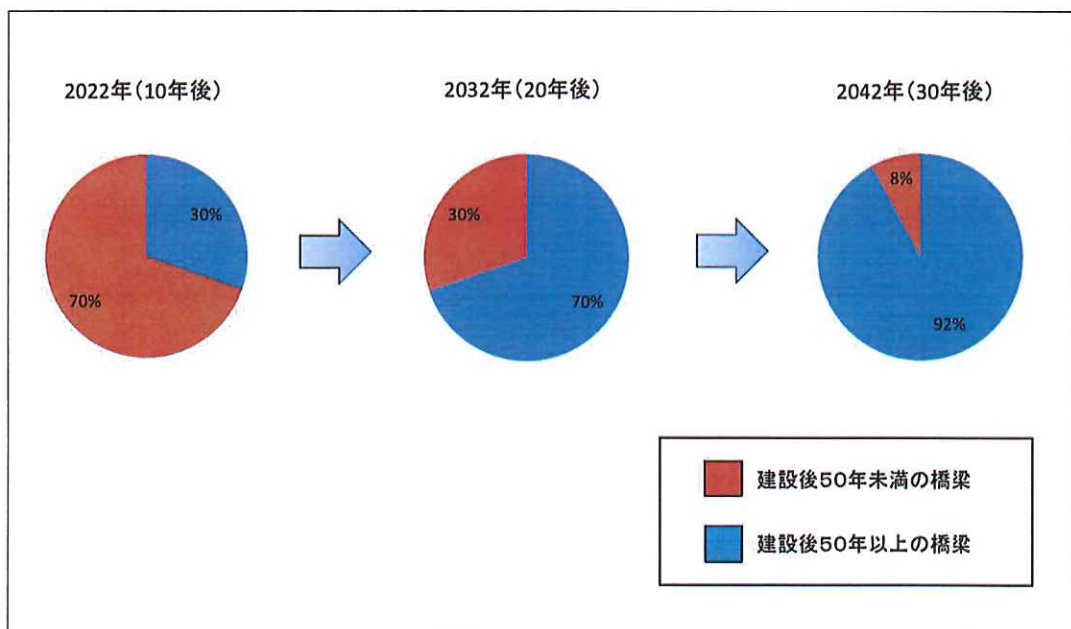
遠別町が管理する 77 橋の道路橋のうち 2018 年現在、建設後 50 年を経過する高齢化橋梁はわずか 4 橋であるが、今後 30 年後には管理橋梁全体の 90% を超過し、急速に高齢化橋梁が増大する。

したがって、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架け替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

2) 目的

遠別町管理の橋梁を良好な状態で末永く利用していくために、定期点検等により橋梁状態を正確に把握し、これまでの事後保全型対応から予防的な修繕、計画的な架替え等、予防保全型対応への転換を図り、道路の安全性・信頼性を向上させ、修繕・架替えに係る費用の最適化および縮減を図ることが重要である。これらをより効率的・具体的に実施していくために、橋梁長寿命化修繕計画策定を行うものである。

遠別町 管理 77 橋における建設後 50 年以上経過橋梁の占有率推移



5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

別表 様式 1-2 による

1) 補修優先順位の決定基準

補修優先順位は、損傷評価および維持管理区分、架設年より決定した。

維持管理区分の判定基準

橋梁重要度	判定区分	該当する橋梁条件
<p>高</p> <p>↑</p> <p>↓</p> <p>低</p>	A	第三者被害を及ぼす可能性のある橋梁 緊急輸送路（1次、2次、3次緊急輸送路） DID地区 主要幹線道路（物流路線、地域重要拠点） 重要路線における橋梁（※1） 塩害影響地域
	B	維持管理区分1A以外で（※2を除く） ・橋長15m以上
	C	交通需要が少ない橋梁（※2） 維持管理区分A、B以外で ・橋長15m未満

※1： 損傷により、住民の生活に支障を及ぼす橋梁、又は災害時の避難ルートが確保できなくなる可能性ある橋梁（迂回路無し等）

※2： 維持管理費用の低減を図るため、撤去（又は架け替え）を前提とし維持管理を行う橋梁

損傷度総合判定

損傷度 総合評価	損傷箇所別判定区分		一般的状況
	損傷箇所数	健全性評価	
<p>高</p> <p>↑</p> <p>↓</p> <p>低</p>	0	IV	損傷が著しく、交通安全確保の支障となる恐れがある。【緊急対応の必要がある】
	d	III	損傷が大きく、詳細調査を実施し補修・補強の要否の検討を行う必要がある。【早期の補修が望まれる】
	c	II	損傷が認められ、追跡調査を行う必要がある。
	b	I	点検の結果から損傷は認められない。
	a		

2) 優先順位付け

上記の決定基準より、各橋梁ごとで総合的に判断して以下の順位とする。

主部材 判定区分		維持管理 区分		
		A区分	B区分	C区分
IV	<p>高</p> <p>↑</p> <p>↓</p> <p>低</p>	①		
III		②	③	④
II		⑤	⑥	⑦
I		⑧		

※基本的には橋梁BMSの優先順位付け手法と同様に、維持管理区分の優先度が高いほど部材の判定区分が悪いほど、優先度を高くした。

遠別町の修繕優先順位の考え方

BMSにより算出した優先順位を参考に、以下の通り補修優先順位を考える。
 なお、長寿命化修繕計画の初期段階であり、事後保全・大規模修繕型の対応となる。

- 1) 点検結果による損傷程度の激しい橋梁、重要部位が損傷した橋梁
- 2) 下記管理区分のAに該当する橋梁
- 3) 損傷進行速度の速い塩害地域に位置する橋梁
- 4) 予防保全を考慮し早期に塗装替えが望ましい橋長15m以上の鋼橋
- 5) 支承、伸縮装置など補修時期に該当する部位でも損傷がない場合は次回点検

遠別町 維持管理区分の決定根拠

維持管理区分	管理水準	グループ	定義、条件等	橋梁名
A	1種	①	第三者被害の可能性のある橋	なし
	2種	②	橋長100m以上の橋	川北橋、樹遠大橋
			緊急輸送路(歩道橋除く)	なし
			DID地区(歩道橋除く)	なし
	3種	③	交通量1,000台/12h以上	なし
			主要な(一級)町道(歩道橋除く)	内野橋、第1共栄橋、学校橋、基線2号橋、宮下橋(15m以上) 中学校橋、第2共栄橋、棚田橋、極楽橋 基線1号橋、小松橋、赤塚橋、若葉橋、新川橋、
塩害影響地域(歩道橋除く)			緑豊橋、緑風橋、浜里橋、宇津々橋、渡辺橋、岩戸橋(15m以上) 汐見橋、北浜橋、1号橋、浜里2号橋、クマウシナイ橋	
B	④	管理区分A以外の15m以上	東野橋、東6号橋、北2線橋、南2線橋、清水橋 佐久間橋、東1号橋、町林橋など	
C			⑤	管理区分A以外で15m未満

グループ①: 劣化損傷が顕著化する前に予防保全的対策を行うことが望ましい。

グループ②: 予防保全的対策により長寿命化を計りLCCの最小化と工事に伴う社会的影響(外部不経済)の低減が可能となる。

グループ③: ②と同様予防保全的対策を行うことが望ましい。塩害に対しても予防保全が効果的となる。

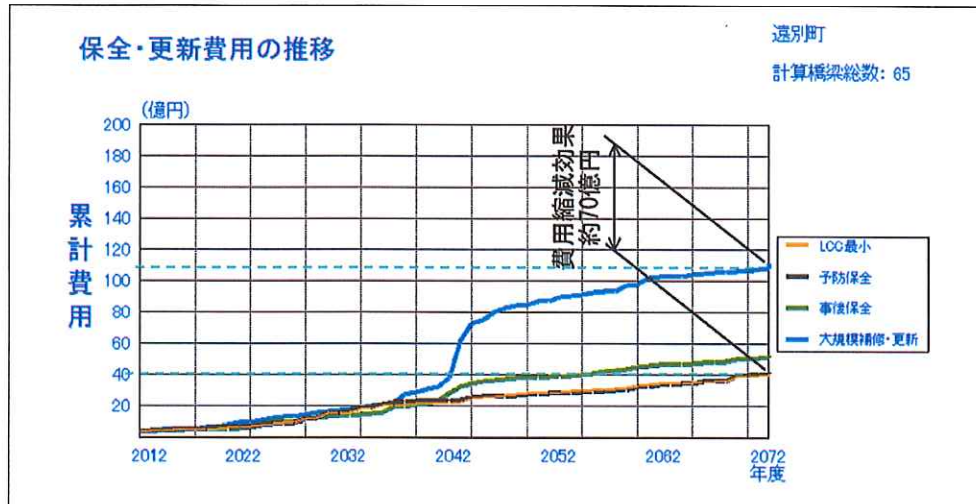
グループ④: 劣化が顕著化した段階で、事後保全的対策を行い、それ以上の性能低下を防ぐものとする。

グループ⑤: 積極的な対策を行わず、使用できるだけ使用し寿命段階で大規模補修あるいは更新を行うものとする。

※: 太字は、2012～2021年の今後10年間に修繕・架替を予定している橋梁を示す。

6. 長寿命化修繕計画による効果

今後 60 年の修繕・架替え工事費（予防保全型、事後保全型）を試算した結果、予防保全型の累計は約 40 億円、大規模補修・更新型の累計は約 110 億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約 70 億円のコスト削減効果が期待出来る。



6. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

北海道 遠別町 経済課 技術係 Tel 01632-7-2111 (内線 239)

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

北海学園大学 工学部社会環境工学科 教授 杉本 博之

【様式1-2】

5. 対象橋梁毎の概ねの次回点検時期および修繕内容・時期又は架替時期 (/4)

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年	供用年数	最新点検年次	修繕計画	対策の内容・時期・事業費(億円)								工事費(億円)			
								2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019		2020	2021	
ピシユク橋	その他	清川原野甲線	7.44	1980	38	2017	対策内容						近接点検						
栗山橋	その他	24号線	13.5	1994	24	2017	対策内容						近接点検						
紅雲橋	その他	丸松原野丁支線	10.47	1965	53	2017	対策内容						近接点検						
太助橋	その他	歌謡市街線	3.00	1963	55	2017	対策内容						近接点検						
久光8号橋	その他	久光8号線	2.80	1973	45	2017	対策内容						近接点検						
久光10号橋	その他	久光10号線	2.30	1973	45	2017	対策内容						近接点検						
無名橋	その他	旭原野丙支線	5.6	1984	34	2017	対策内容						近接点検						
無名橋	その他	旭原野丙支線	3.5	1978	40	2017	対策内容						近接点検						
前田橋	その他	東野西線	2.5	1982	36	2017	対策内容						近接点検						
上沢橋	その他	東野北線	15.43	1982	36	2017	対策内容						近接点検						
門野橋	その他	西1線	12.54	1983	35	2017	対策内容						近接点検						
平成30年度計画 補修費用(億円)								0.22	0.50	0.40	0.42	0.96	0.30	0.54	0.51	0.77	0.70	5.32	

H26-29判定区分一覧表まとめ

No.	橋梁番号 (分類番号)	点検年	橋梁名	路線名	区間数	上部形式	上部形式2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年 数	主桁	横桁	床版	下部 構造	支保部	その他	判定 区分	所管等
1	7955	2014	川北橋	共栄線	5	PC橋	ボスナント桁	156.05	8.20	7.00	1968	50	II	II	I	II	II	II	II	主桁・床版は遊離石段に補計が施し、上部形式がIIとした。P3 床版はI判定であるが、設計時から選定されたためIIとした。
2	3703	2015	源栄橋	歌越幸和線	1	PC橋	プレテン中空 床版	20.50	8.70	7.50	1999	19	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
3	3721	2015	岡2線橋	歌越岡1線	1	H型鋼	H形鋼(合 成)	45.20	6.50	5.50	1980	38	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微ではある。
4	3741	2015	澤水橋	澤川原野甲線	1	H型鋼	H形鋼(合 成)	21.75	7.00	6.00	1981	37	I	I	I	I	I	I	I	橋が突出しており、支保部下のモルタルが剥離し、上部工からの 損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
5	3750	2015	笠久岡橋	澤川原野甲線	1	H型鋼	H形鋼(合 成)	20.20	7.00	6.00	1982	36	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
6	3768	2015	緑豊橋	富士見野線	1	H型鋼	H形鋼(合 成)	24.00	6.50	5.50	1977	41	II	II	I	II	II	II	II	支保部の耐震性能が著しく低下しているため、放置すると機能回復が 損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
7	3769	2015	朝風橋	富士見野線	1	PC橋	ボスナント桁	27.90	6.00	5.00	1983	35	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
8	3789	2015	内野橋	歌越原野乙支線	1	H型鋼	H形鋼(合 成)	16.58	8.20	7.00	1983	35	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。支保 部はII判定である。
9	3790	2015	東1号橋	久米中央線	1	H型鋼	H形鋼(合 成)	18.74	7.70	6.70	1985	33	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
10	3811	2015	第1共栄橋	共栄線	1	H型鋼	H形鋼(合 成)	17.05	8.70	7.50	1988	30	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
11	3812	2015	中山橋	遠田原野丁支線	1	H型鋼	H形鋼(合 成)	19.56	7.50	6.50	1988	30	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
12	3835	2015	学林橋	歌越原野乙支線	1	PC橋	プレテン中空 床版	15.64	8.70	7.50	1991	27	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
13	3837	2015	緑の橋	祝富線	1	PC橋	プレテン中空 床版	19.67	7.50	6.50	1992	26	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
14	3853	2015	浜里橋	北海岸線	1	PC橋	プレテン中空 床版	22.67	8.70	7.50	1994	24	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
15	3854	2015	旭橋	歌越幸和線	1	鋼管拱橋	I桁(合 成)	46.00	8.70	7.50	1993	25	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微ではあるが 支保部はII判定である。
16	7951	2015	原辺橋	北海岸線	1	鋼管拱橋	I桁(合 成)	30.00	8.00	7.00	1977	41	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
17	7952	2015	若戸橋	北海岸線	1	PC橋	プレテン中空 床版	18.70	8.10	7.00	1974	44	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
18	1070	2015	基線1号橋	歌越原野甲線	1	H型鋼	H形鋼(合 成)	12.50	6.50	5.50	1964	54	II	II	II	II	II	II	II	損傷程度は、鋼管拱橋から進行は無いと思われる、R側設置部 はII判定である。
19	7959	2015	東野橋	東野西線	2	鋼管拱橋	I桁(合 成)	61.00	4.70	4.00	1974	44	I	I	I	I	I	I	I	A1下部工設置部の欠損が甚しい、今後調査の影響が進行すると 損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
20	7953	2015	基線2号橋	歌越原野甲線	1	鋼管拱橋	I桁(不 成)	25.00	7.20	6.00	1976	42	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
21	1860	2015	町林橋	清川1号線	1	鋼管拱橋	I桁(合 成)	36.00	7.00	6.00	1979	39	I	I	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
22	0010	2015	分厚橋	北海岸線	1	PC橋	PC 床版橋	12.54	8.70	7.50	1980	38	II	-	I	I	I	I	II	全主桁より局所的に鉄筋が突出している為、支保部保護等の 損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
23	7954	2015	宮下橋	歌越原野乙支線	2	PC橋	プレテン中空 床版	41.00	8.70	7.50	1991	27	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
24	1090	2015	小松橋	歌越原野甲線	1	H型鋼	H形鋼(非合 成)	6.32	7.10	6.10	1977	41	II	II	I	II	I	I	I	上部構造の腐食進行は無いと思われる。今後、望岩北の進行、 損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
25	4580	2015	浜里2号橋	北海岸線	1	PC橋	プレテン床版	12.50	6.00	5.00	1982	36	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
26	1590	2015	1号橋	北星19号線	1	PC橋	プレテン中空 床版	10.40	8.20	7.00	1995	23	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
27	1600	2015	第1号橋	豊朝梁2線	1	PC橋	PC 床版橋	9.74	7.00	6.00	1991	27	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
28	1650	2015	北星橋	北星西遊り線	1	PC橋	PC 床版橋	14.10	6.00	5.00	1987	31	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
29	1670	2015	御井橋	金満線	1	PC橋	PC 床版橋	5.60	7.50	6.50	1984	34	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
30	1750	2015	北星山手橋	北星山手線	1	PC橋	PC 床版橋	10.95	7.50	6.50	1992	26	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。
31	8025	2015	北浜橋	北海岸線	1	PC橋	プレテン中空 床版	14.90	8.70	7.50	1996	22	II	-	I	II	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微ではあるが 支保部はII判定である。

H26-29判定区分一覧表まとめ

No.	橋梁番号 (支脚番号)	点検年	橋梁名	路線名	区間数	上部形式	上部形式2	橋長 (m)	全橋幅 (m)	有効橋長 (m)	架設 年度	供用年	主桁	横桁	床版	下部 構造	支保脚	その他	判定 区分	所管等	
32	0020	2016	中学校橋	中学校道路線	1	PCRC	プレテン中空床版	9.80	11.20	10.00	1992	26	I		I	I	I	II	II	機能回復対策として床版断面補修を実施することが望ましい。	
33	0030	2016	第2共栄橋	共栄線	1	PCRC	PC 床版橋その他	14.80	8.70	7.50	1986	32	I		II	II	I	II	II	漏水対策として橋面防水を実施することが望ましい。	
34	0050	2016	有田橋	西1線	1	PCRC	プレテン床版	13.34	6.70	5.50	1982	36	I		I	II	I	II	II	漏水対策として橋面防水を実施することが望ましい。	
35	0070	2016	大瀬橋	岩朝陽拓道線	1	PCRC	PC 床版橋その他	10.41	8.70	7.50	1984	34	I		I	I	I	II	II	漏水対策として橋面防水を実施することが望ましい。	
36	0080	2016	畑菜橋	北1号線	1	PCRC	プレテン中空床版	11.90	11.20	10.00	2001	17	I		I	I	I	II	II	構造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。	
37	1310	2016	岩菜橋	中学校道路線	1	PCRC	RC構橋 (BOXカル バート)	2.75	11.80	10.50	1980	38	I			I		II	II	構造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。	
38	1380	2016	後防橋	金浦乙線	1	PCRC	PC 床版橋その他	13.04	7.50	6.50	1988	30	II		I	I	I	I	II	II	漏水対策として橋面防水を実施することが望ましい。
39	1840	2016	幸和運路橋	幸和北浜線	1	PCRC	プレテン中空床版	13.16	8.70	7.50	2009	9	I		I	I	I	I	II	II	構造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
40	7946	2016	第2クワ シューイ橋	歌越幸和線	1	PCRC	プレテン中空床版	16.26	8.70	7.50	2003	15	I		I	I	I	I	II	II	漏水対策として橋面防水を実施することが望ましい。
41	7956	2016	牧野橋	牧野線	1	PCRC	プレテン中空床版	16.64	7.70	6.50	1993	25	I		I	I	I	I	III	III	構造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
42	7957	2016	旭3線橋	歌越幸和線	1	鋼筋コン クリ	I 桁 (合成)	42.00	8.70	7.50	1994	24	I	I	I	II	I	I	II	II	機能回復対策として下部工ひび割れ補修を実施することが望ましい。
43	7958	2016	北2線橋	加原野乙線	1	H型鋼	H形橋 (合成)	18.00	5.00	4.00	1976	42	I	II	II	II	II	II	II	II	防食対策として鋼部材塗装塗替えを実施することが望ましい。
44	7960	2016	東6号橋	岩朝陽6線	2	鋼筋コン クリ	I 桁 (合成)	40.00	6.50	5.50	1974	44	II	II	II	II	II	II	II	II	防食対策として支保脚塗装塗替えを早期に実施する。
45	7961	2016	相違大橋	歌越幸和線	4	PCRC	ポストテン補桁	357.20	10.50	9.50	1999	19	I	I	I	I	I	I	II	II	主要部材の損傷は直ちに補修するほどの緊急性はなく、健全であると判断でき
46	7961	2016	Box橋	歌越幸和線	4	PCRC	ポストテン補桁	357.20	10.50	9.50	1999	19	I	I	I	I	I	I	II	II	主要部材の損傷は直ちに補修するほどの緊急性はなく、健全であると判断でき

H26-29判定区分一覧表まとめ

No.	橋梁番号 (支那番号)	点検年	橋梁名	路線名	密度級	上部形式	上部形式2	橋長 (m)	全橋長 (m)	有効橋長 (m)	築設 年度	供用年	主桁	橋桁	床版	下部 基礎	支保部 その他	判定 区分	所見要
47		2017	柳田橋	西1線	1	PC橋	プレテン床版	12.50	6.70	5.50	1983	35	I	-	I	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
48		2017	柳内橋	北3号線	1	H型橋	H形鋼(合成)	9.61	8.70	7.50	1984	34	II	I	I	I	I	I	防食対策として上部工塗装塗料を早期に実施することが望ましい。
49		2017	啓明4線橋	啓明川通路橋	1	PC橋	PC床版橋その他	6.22	8.70	7.50	1975	43	II	-	I	I	I	I	機能回復対策として上部工塗装塗料を早期に実施することが望ましい。
50		2017	善和1号橋	善和1号線	1	PC橋	PC床版橋その他	10.00	7.70	6.50	1994	24	I	-	I	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
51		2017	赤塚橋	北星東線	1	H型橋	H形鋼(合成)	12.40	6.00	5.00	1980	38	II	I	I	I	I	I	防食対策として上部工塗装塗料を早期に実施することが望ましい。
52		2017	山川橋	久光中央線	1	H型橋	H形鋼(合成)	7.00	6.00	5.00	1971	47	II	I	I	I	I	I	防食対策として上部工塗装塗料を早期に実施することが望ましい。
53		2017	富士見橋	富士見野線	1	H型橋	H形鋼(非合成)	10.30	6.00	5.00	1979	39	II	I	I	I	I	I	防食対策として上部工塗装塗料を早期に実施することが望ましい。
54		2017	新川橋	24号線	1	RC橋	ラーメン橋	8.55	8.60	7.60	1971	47	II	I	I	-	-	I	機能回復対策として上部工塗装塗料を早期に実施する。
55		2017	善和2号橋	善和2号線	1	H型橋	H形鋼(非合成)	6.50	5.00	4.00	1973	45	II	I	I	I	I	I	防食対策として上部工塗装塗料を早期に実施することが望ましい。
56		2017	8線橋	清川原野野支線	1	PC橋	プレテン床版	11.40	6.00	5.00	1978	40	I	-	I	I	I	I	漏水対策として橋面防水を早期に実施する。
57		2017	角道橋	北3号線	1	H型橋	H形鋼(合成)	6.45	5.00	4.00	1972	46	II	I	I	I	I	I	防食対策として上部工塗装塗料を早期に実施する。
58		2017	青木橋	啓明東6線	1	PC橋	PC床版橋その他	9.00	7.50	6.50	1989	29	I	-	I	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
59		2017	のむら橋	久光12号線	1	H型橋	H形鋼(非合成)	10.40	4.00	3.00	1971	47	II	I	I	I	I	I	防食対策として上部工塗装塗料を早期に実施することが望ましい。
60		2017	東3線橋	啓明東3線	1	PC橋	プレテンT桁	8.44	5.00	4.00	1980	38	II	I	I	I	I	I	機能回復対策として上部工塗装塗料を早期に実施することが望ましい。
61		2017	アマウシヤナ橋	富士見野線	1	RC橋	RC溝橋(BOXカナル ハート)	5.10	6.80	5.80	1982	36	I	-	-	I	-	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
62		2017	小川橋	丸池北星線	1	PC橋	PC床版橋その他	10.40	8.20	7.00	1988	30	I	-	I	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
63		2017	久光9号橋	久光9号線	1	RC橋	RC溝橋(BOXカナル ハート)	3.00	6.00	6.00	1992	26	I	-	-	I	-	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
64		2017	表橋	東野西線	1	RC橋	RC溝橋(BOXカナル ハート)	6.08	4.80	4.00	1996	22	I	-	-	I	-	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
65		2017	手達々橋	北海岸線	3	RC橋 RC溝橋(BOXカナル ハート)	RC溝橋(BOXカナル ハート)	71.90	7.70	6.50	1970	48	I	I	I	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
66		2017	無名橋2	北2号線	1	その他	その他	3.50	5.50	5.50	1978	40	I	-	-	-	-	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
67		2017	ビシク橋	清川原野野線	1	PC橋	PC床版橋その他	6.80	4.00	4.00	1980	38	I	-	I	I	I	I	安全対策として橋脚防止対策を実施することが望ましい。
68		2017	紅雲橋	丸池啓明野支線	1	H型橋	H形鋼(合成)	10.42	4.00	4.00	1968	50	II	I	I	I	I	I	防食対策として上部工塗装塗料を早期に実施する。
69		2017	太助橋	歌謡市街線	1	RC橋	RC溝橋(BOXカナル ハート)	3.00	4.50	4.50	1963	55	II	-	-	-	-	I	機能回復対策として上部工塗装塗料を早期に実施することが望ましい。
70		2017	久光8号橋	久光8号線	1	RC橋	RC床版橋(その他)	2.85	3.00	3.00	1973	45	I	-	-	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
71		2017	久光10号橋	久光10号線	1	RC橋	RC溝橋(BOXカナル ハート)	2.80	5.70	5.70	1973	45	I	-	-	I	-	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
72		2017	無名橋1	旭原野野支線	1	PC橋	PC床版橋その他	11.30	3.00	3.00	1984	34	I	-	I	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
73		2017	初田橋	東野西線	1	RC橋	RC溝橋(BOXカナル ハート)	2.50	3.50	3.50	1982	36	I	-	-	I	-	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
74		2017	上流橋	東野北線	1	H型橋	H形鋼(合成)	15.60	4.00	4.00	1982	36	I	I	I	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
75		2017	米山橋	24号線	1	H型橋	H形鋼(合成)	14.50	4.00	4.00	1994	24	I	I	I	I	I	I	探検対策として、支保モルタル補修を実施することが望ましい。
76		2017	門野橋	西1線	1	PC橋	プレテン床版	12.60	5.50	5.50	1963	35	I	-	I	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。
77		2017	マヤリ橋	善和北星線	1	PC橋	プレテン床版	20.60	7.50	7.50	2012	6	I	-	I	I	I	I	橋造物の性能に影響を及ぼす損傷はない。

I	56	24	57	56	51	21	42
II	20	11	11	19	10	50	27
III	1	0	0	0	7	6	8
IV	0	0	0	0	0	0	0
-	0	10	1	0	1	0	0